地域とのコミュニケーション情報発信紙

敬老園便り

第34号
令和4年
1月1日発行

【編集・発行】敬老園本部／〒386-0027 長野県上田市常磐城2256-1 2F　TEL.0268-28-1170（代）

謹賀新年



設立
1973年
（昭和48年）
5月

敬老園の理念

少子高齢化の進展に伴う様々な問題に、地域に根ざした社会福祉法人として三つの理念を掲げ、役職員が一丸となり社会貢献を致します。

敬老園は人間の尊厳を大切にし、柔軟な心をもってあらゆる可能性のある質の良い介護を目指します。

敬老園は公平公正な施設運営を旨とし、変化する時代を的確にとらえ社会に貢献する健全な経営を目指します。

敬老園は心と心の結びつきを基本とし、取り巻く全ての関係を誠意と熱意をもって構築することを目指します。

4月衣替え・開設
既存のデイサービスを
小規模多機能型居宅介護に転換

明けましておめでとうございます。

令和4年、長引くコロナ禍で3年目を迎えました。この間、感染予防対策上やむを得ず入居（所）者の面会・外出制限、ボランティア等の受け入れ禁止、職員・家族の県外往来の行動規制など高い緊張感を持ちながら対策を講じてまいりました。

この冬、3回目のワクチン接種が2回目接種後6～8か月経過者から接種される見込みで、効果が期待されます。

昨年は法人にとって様々な出来事がありました。3月、介護福祉士養成施設「上田福祉敬愛学院」が14年間で幕を閉じました。介護の道を選択する学生さんが極端に少なくなり運営上やむを得ない決断でした。

今後、介護業界も人材確保が一層困難となり、事業の継続そのものが困難となることは確実であり、サバイバルの時代に入りました。出稼ぎではなく資格取得して定着できる外国人材の確保や介護の効率化、機械・システム化等の取り組みを急ぐ必要があります。

敬老園では、外国人材受け入れ上の問題は多いですが EPA(経済連携協定)でベトナム人、インドネシア人23名を中心に今年中に46名受け入れ体制とします。

4月、「上田市西部地域包括支援センター」運営受託、本部1階で運営開始。介護報酬改定は「科学的介護(LIFE)」元年とし、データに基づく介護サービス提供や感染症や災害への対応強化等での改定が行われ、改定率は プラス0.70%となりました。

6月、理事・監事改選。18年余理事長を勤めた斎藤俊明執行部が退任し、私を理事長とする新執行部が発足しました。皆様のご指導よろしくお願いいたします。

前理事長時代は、介護保険制度施行に伴う基盤整備を中心として取り組んでまいりました。新執行部は、維持・発展を使命として取り組んでまいります。この先5年、10年、20年少子超高齢社会で、「敬老園丸」の舵取りは、厳しいと言わざるを得ません。

また昨年は悲しい出来事として、にしうち敬老園の配食事業に主体的に関わって下さった方や現職の評議員が亡くなられました。法人に多大なる貢献をして下さった皆様の功績に感謝するとともに、心よりご冥福をお祈りいたします。

敬老園も法人設立から今年満49年を迎えます。来年の50年の節目に、法人を支えて頂いた方々へのご恩返しの企画を含め委員会を立ち上げます。明るい話題として、4月「うえだはら敬老園デイサービスセンター」を小規模多機能型居宅介護(登録 29名)に転換し、時代のニーズに沿った運営に形を変えていきます。

今年、飛躍の年とするべく役職員一同一丸となって取り組んでまいりますので本年もよろしくお願いいたします。

理事長 斎藤 剛志



一所で一緒 チーム 敬老園

No.19

みよしちょう敬老園
ヘルパーステーション
訪問介護員
朝日 彩夏

朝日さんと一緒にいると元気になれる！
とびっきりの笑顔と明るさで、ご利用者・職員のみんなから信頼される みよしちょう敬老園の元気印 です。



※写真撮影時のみマスクを外しています。

ある1日の流れ（日勤帯）

時間	内容
8:30	出勤・朝礼
9:00	A様宅 デイサービス送り出し
10:00	B様宅 掃除・洗濯
11:00	C様宅 排泄介助
12:00	D様宅 昼食の調理援助
13:00	昼休み
14:00	B様宅 入浴介助
15:00	E様宅 入浴介助
16:00	F様宅 買い物代行
17:30	退勤

私たちは多種多様な職種がそれぞれの役割を果たすことで利用してくださる方に「敬老園があって良かった」と思っていただけるようハツラツと毎日を過ごしています。

職場の雰囲気は、いかがですか?

真面目な話から冗談まで、なんでも話せる温かい雰囲気だと思います。また、ご利用者や職員、周りの方々に対しても思いやりのある仲間ばかりだと感じています。

私は、何も分からない状況で介護の世界に飛び込みました。新人の時に丁寧に指導をしていただいた経験が今の自分の大きな財産になっています。敬老園に勤めて7年目になりますが、新人の時に教えていただいた介助技術の意味やサービスの向こう側にあるご利用者の生活を考えることの大切さをご利用者と関わる毎日から学んでいます。

私のように介護に初めて挑戦する方でも安心してやりがいを感じて働ける環境が敬老園にはあると思います。

今後の目標を教えてください。

私には、「こんな風になりたい!」と憧れている上司がいます。そのことが「もっと頑張りたい!」という向上心のスイッチを押してくれます。自分を高めることの1つとして今年度の介護福祉士国家資格の受験に挑戦する予定でいます。

上手くいかない時やくじけそうなこともありましたが、目標となる存在が近くにいることで乗り越えられた私がいます。

そんな存在がいることは、敬老園の大きな魅力だと思います。

Newsその1

温かい気持ちをいただきました。



上田市の作曲家で歌手、歌謡教室主宰の宮下賢様は、平成10年から開催を継続されているチャリティコンサート収益金の一部を「地域福祉のために役立てていただきたい」という想いから、当法人へ車いす1台と不織布マスク1,000枚をご寄付してくださいました。

ご寄付をいただいた車椅子は、15台目となり、有料老人ホームやデイサービスセンターなどで大切に使わせていただいております。また、感染症対策に細心の注意を払いながらの事業運営を続ける福祉業界にとって欠かすことができないマスクには、宮下様の福祉への深いご理解を感じました。

斎藤理事長は、「温かい気持ちをいただき本当に感謝いたします。長きに亘り取り組みを継続されていることに尊敬の気持ちでいっぱいです。」と挨拶し、役職員一同の気持ちを込めて感謝状を贈りました。

今後も、支えてくださる方々の想いを心に刻み、ご利用者・地域の皆様の視点で安心して生活していただける地域づくりを推進してまいります。



感謝状をお渡しする
斎藤理事長(左)
宮下 賢様(右)



社会福祉法人
敬老園
[本部]〒386-0027 上田市常磐城2256-1
E-mail jinji@keiroen.or.jp
■法人本部 人事・教育研修部人事課【担当／山口・尾友】
0120 FreeDial 0120-70-1651
8:30～17:30
社会福祉法人敬老園 ウェブ検索



News その2

ずっと、この時間を楽しみにしていました。

～「上田千曲高校生活福祉課1年生」と「EPA介護福祉士候補者6名」の交流会～

「福祉を学ぶ」という共通点から、お互いの文化や言葉、介護技術等の交流を通じて相互理解を深めると共に国籍や文化の「ちがい」を認め合い、支え合う関係となる「多文化共生社会」について考えていくという思いでスタートした取り組みです。

新型コロナウイルス感染拡大を受けて、待ちに待った2年ぶりの交流でした。コロナ禍で高校生活をスタートした生徒の皆さんにとって、外部と対面形式での交流は初めてとのことでした。グループに分かれ、お互いの文化をテーマに交流が始まりました。



お互いに緊張している様子でしたが、数分後…。

お互いに名前で呼び合い「えー!すごーい!」「なになになに!」とみんなが笑顔で手を叩きながら盛り上がる教室。後半は、日本の遊びとベトナムの遊びをお互いに紹介し、一緒に楽しみました。「はい。それでは、時間です!」という先生の声も届かないほどでした。

来年は、2年生になった生徒の皆さんと同じグループメンバーで再会することを約束して交流を終えました。今は、感染症対策を講じた上でになりますが、やっぱり直接会うって、とても素敵でとても楽しいことだと感じました。



来年の再会を誓って幕を閉じました!



News その3

想いの向こう側へ寄り添うこと。

「キレイにやってあるわぁ。」
「これは、根気のいる作品だねぇ。」
「今度、私も挑戦してみようかしら。」

コロナ新規感染者が減少傾向になり、ほんの少しずつではありますが日常生活に明るい兆しを感じ始めた11月12日（金）～17日（水）の間に会場レイアウトや換気等にも細かな気を配り、感染症対策を講じて2年ぶりに中信地区作品展が開催されました。

昨年は、コロナ感染拡大下であったため、やむを得ず開催中止としましたが、「想いのこもった作品をみんなで見ることで、気持ちを共有し、笑い、元気になろう!」というテーマでご利用者と職員が一緒に取り組んだ成果を形にしています。





インドネシア特定技能・技能実習生の想い

想いを1文字に表現



母国を離れ、言葉を学び、仕事を覚え、家族のために一生懸命に働く。その想いを文字にするため、自ら文字を調べ、意味を理解し、何度も失敗しながら作品にしました。

想いの裏側に何があるのかを感じとり、寄り添うこと。大切なことに気づいた作品展でした。

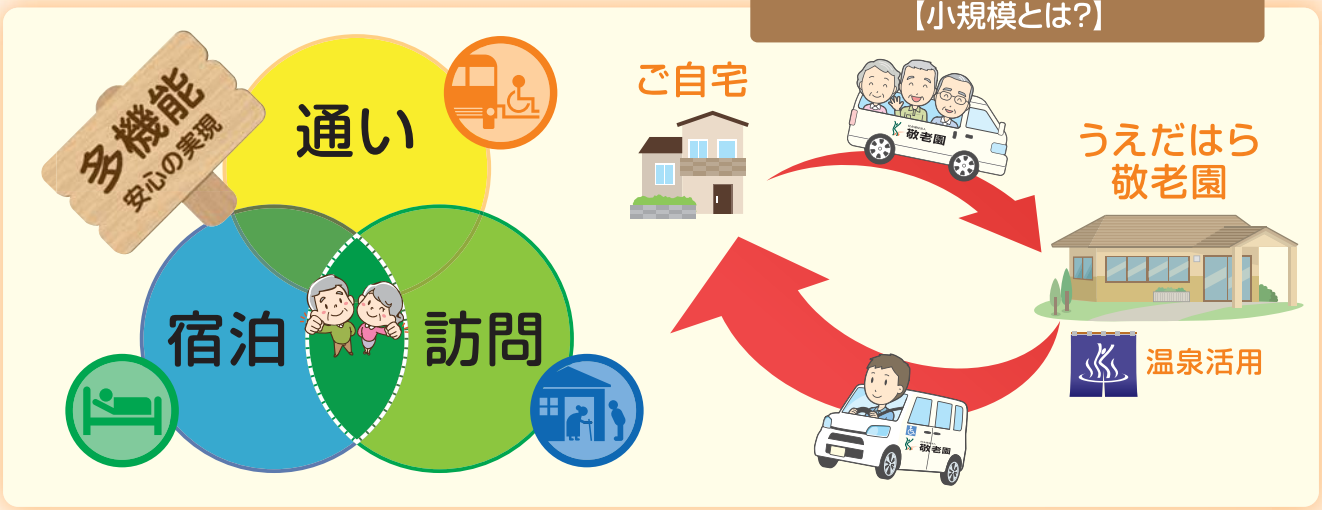


Newsその4

2022年4月1日
小規模多機能型居宅介護うえだはら敬老園 開設!!
～ながいけの小径～

現在のうえだはら敬老園デイサービスセンターを小規模多機能型居宅介護に転換し、地域の皆様が住み慣れた地域で自分らしい生活を継続していただけるよう、おひとりおひとりに合ったサービス提供をいたします。小規模多機能型居宅介護は、かわべちょう敬老園に続き、法人で2か所目となります。

多機能型居宅介護のサービス【小規模とは?】



従来ですと「通い」「宿泊」「訪問」のサービスをそれぞれ別の事業所を利用しなければならなかったところを、小規模多機能型居宅介護うえだはら敬老園を利用することで、顔なじみの職員からサービスを受けることができ、新しい環境に馴染むことが苦手な方や環境の変化に敏感な方でも安心して自分らしい生活を継続することができます。

また、通いサービス利用からそのまま宿泊サービスを利用できたり、緊急時の訪問サービスを利用できたりなど、体調にあわせて柔軟にサービスを利用することができます。

サービスの詳細については、下記の担当者までお気軽にお問い合わせください。



◎小規模多機能型居宅介護
うえだはら敬老園
～ ながいけの小径 ～

担当 中山

〒386-1102 長野県上田市上田原1068
3/31まで ☎0268-27-1165
4/1以降 ☎0268-71-6738



五感で味わう敬老園の食事 ～栄養部から～ その22

おいしい食事と、笑顔と。

うえだみなみ敬老園 上田市常田1-4-12
ざいもくちょう敬老園 上田市中央2-20-15

うえだみなみ・ざいもくちょう敬老園では、利用者様に食の楽しみを感じていただけるよう、食のイベントにも力を入れています。うえだみなみ敬老園では先日、利用者様に揚げたての天ぷらを召し上がっていただきました。茄子、さつまいも、カボチャ、まいたけ、ピーマン、エビの6種類を目の前で揚げて、あつあつサクサクの天ぷらをお出ししました。普段、少食の方もたくさんおかわりしておられ、「揚げたては美味しい!たくさん食べたよ!」と喜んでいらっしゃいました。利用者様の笑顔も見ることができ、とても嬉しい気持ちになりました。

うえだみなみ敬老園 管理栄養士 北原 未来







ざいもくちょう敬老園では、11月の初旬にバーベキューを行いました。当日は晴天の下、焼き鳥やお肉・季節の野菜を炭火で焼いて、おにぎりと一緒に召し上がって頂きました。おかわりも沢山して頂き、「お腹いっぱい!」「大満足!」とのお声もたくさん聞かれ、笑顔が絶えることなく大好評でした。

ざいもくちょう敬老園 栄養士 松橋 静

編集後記

目を見て話すこと、人となりを感じること、その場の雰囲気。画面越しでは伝わらない非言語の情報が私たちにとってはとても大切です。「コロナが落ち着いたらね。」そんな一言を聞かない1年になることを願って…。
令和4年、今年もよろしくお願いいたします。(倉島)